

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	二. 地域住宅支援
	計画の名称	魅力ある住環境整備計画(第2期 入善地域住宅計画)
	計画策定主体	入善町
	事業主体	富山県
	計画期間	平成23～28年度(6年間)
	計画の目標	入善町におけるだれもが安心して住み続けられる住まい・住環境を実現するため、町の実情を踏まえた具体的施策を立て、住まい・住環境を形成していく。
	定量的指標 (目標値)	・建替え重点団地(上原住宅)の整備促進 0戸 → 59戸 ・住宅市街地の整備・誘導計画策定の基礎調査 0㎡ → 6,186ha ・建替え重点団地(新櫛山・舟見住宅)の整備促進 0戸 → 32戸
	対象事業	- 公営住宅整備事業等 - 単独住宅整備 - 入善町民間宅地開発事業補助金 - 住まい街づくり推進事業 - 住宅地区改良事業等 - 都市計画公園新設整備 - 住まい街づくり計画策定
	全体事業費	884百万円

評 価	項 目		評 価	説 明 欄
	目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	入善町都市計画マスタープラン、入善町総合計画、富山県住まい・まちづくり計画、富山県耐震改修促進計画 など
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	定住促進、人口増対策などの住宅政策は町における重要課題としており、着実な事業の実施が望まれている。
	計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整合性は確保されている。
		2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	明確な数値を利用している。
		3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	確保されている。
		4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	可能である。
		5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	事業効果は大きいと思われる。
	計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	町営住宅の建替えについては、新規に入居者を公募しない政策空家を実施しており、約半数近い住宅が空き家となっている。また、市街地における空き家の情報が住民から寄せられ、当町において、基礎調査を踏まえ、計画的に施策を講じる必要性が生じている。
		2 地元の機運が醸成されているか	○	老朽化した公営住宅の戸数確保については、地元からの期待が高まっている。また、市街地における空き家対策の要望が多く寄せられている。
	評 価 結 果	評価Ⅰ 事業を実施 評価Ⅱ 計画の見直し	【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの	